

和光地区節電対策に係る平成24年度の計画（変更）

24. 6. 14

施設担当理事 田中正朗

昨年3月に発生した東日本大震災による電力需給の逼迫を背景に、危機管理対策本部の下に置かれた和光地区節電対策検討委員会における検討を踏まえ、昨年5月13日付けで平成23年5月から平成24年3月までの和光地区の節電計画について、取りまとめ、順次変更を加えて、節電を順調に実施してきたところである。今般、政府の今夏の電力需給計画等が明らかとなり、削減目標値を定めないことが決定したため、平成24年度における和光地区の節電計画を下記のとおりに変更することとした。

但し、電力の需給状況の変化により、やむを得ない事態が生じた場合には、本計画について、さらに変更することがあり得る。

なお、下記に示す、今後の使用電力の計画を策定するに当たっては、和光地区全体での昨年4月初めの使用電力は9,000kWであり（加速器・スーパーコンピュータは、運転停止中）、この時点での各研究所・センターの使用電力を基準とした。

1. 平成24年度における契約電力値を昨年度と同じ22,000kWに決定したため、7月17日から9月末日までの期間の削減目標をその約10%減である20,000kWとする。なお、7月1日から16日までの間は、加速器を引き続き運転するため、削減目標は定めない。
2. 基幹研究所は、現在も、通常の時期に比べて、節電に伴い研究活動が制約されていることから、昨年度末に引き続き、1,000kWの最大使用電力の増加を行い、さらに新たに設置するコジェネレーションシステム（新CGS）が本格的に稼動を開始する平成25年1月から、さらに250kWの最大使用電力の増加を行うことにより研究活動の活性化につなげる。
3. 脳科学総合研究センターは、現在も、節電に伴い研究活動が制約されていることから、昨年度末に引き続き、1,750kWの最大使用電力の増加を行い、さらに平成25年1月から500kWの最大使用電力の増加を行うことにより、既存の研究室における研究活動の活性化につなげるとともに、昨年2月末に竣工した新研究棟について、動物飼育区域及び新研究グループ等の研究室・実験室の運用を一層進める。
4. 仁科加速器研究センターは、以下のとおり、外部供給電力を利用して、加速器施設

を稼働させる。

平成24年4月～5月 最大 7,000kW

平成24年6月 最大 8,000kW

平成24年7月1日～7月16日 最大 6,500kW

平成24年7月17日～7月31日 不要（ただし、この間、CGS による最大
5,500kW の電力供給で、加速器を運転）

平成24年8月 不要（ただし、この間、CGS による最大 5,000kW の電力供給で、
加速器を運転）

平成24年9月 最大 3,600kW

平成24年10月～11月 最大 9,500kW

平成24年12月 最大 8,000kW（これ以降、新 CGS による最大 1,500kW の
電力供給を開始）

平成25年1月 最大 5,500kW

平成25年2月～3月 最大 4,000kW（この間、CGS が停止する）

5. 情報基盤センターにおいては、昨年度末に引き続き、今年度通年で通常運転とする。

担当連絡先：施設部施設企画課

shisetsukikaku@riken.jp